

会 議 議 事 録

| | | |
|-------|---|---|
| 会 議 名 | 2019年度 第1回 学校関係者評価委員会 | 東京工科自動車大学校品川校 |
| 開催日時 | 2019年7月4日（木） 18時00分 ～ 20時00分 | |
| 会 場 | 東京工科自動車大学校品川校 33 教室 | |
| 参 加 者 | 委員 | 7人 瀧佳志雄、根本淳一、山川幸子（遅刻 15分）、後藤郁子、木下昌明、宮中洋樹、赤田望（欠席） |
| | 事務局 | 3人 佐藤康夫、松村道隆、佐藤文夫 |
| 会 議 録 | <p>1. 校長挨拶 佐藤校長より、本学校関係者評価委員会開催に向けての挨拶がなされた。</p> <p>2. 委員会成立の確認 委員6名、事務局3名の参加、欠席1名で規定により委員会成立が確認された。</p> <p>3. 議長・書記選任 全員一致で、議長を瀧委員、書記を根本委員とし承認を得た。</p> <p>4. 議事（議長）</p> <p>①前回議事録の確認 松村副校長より前回議事録が確認され、承認を得た。</p> <p>②30年度事業計画 進捗状況 佐藤校長より平成30年度の事業計画実績報告が行われ、承認された。 ・就職実績 ・学生募集実績 ・国家資格合格実績 ・進級、卒業、退学実績 ・教職員FD実績</p> <p>③2019年度 事業計画と取り組み内容 佐藤校長より、今年度の事業計画の説明が行われ、承認された。</p> <p>④高等教育の無償化への申請について 佐藤校長より、高等教育の無償化についての説明があり、現在申請に向けた準備中である事が説明され、承認された。</p> <p>⑤主な年間スケジュール 佐藤校長より、2019年度の主なスケジュールについて説明され、承認された。</p> <p>意見交換 山川委員→高度教育の無償化が認められる学校数はどのくらいの見込か。また、留学生も支援を受けられるのか。 佐藤校長返答→職業実践専門課程が全専門学校で35%程度で、その中から半分くらいが認められるのではないかと予想する。 支援を受けることができるのは日本人だけで留学生は受けられない。 木下委員→国家試験の合格率100%と報告があったが、将来的に電気自動車の整備士について資格はどうなるのか。 佐藤校長返答→これまではガソリン整備士資格は小型自動車、ジーゼル整備士資格は</p> | |

大型車の事業所から受験しやすいように配慮された分類であったが、今の時代においては古いカテゴリーとなってきており、電気自動車は含まれていない。

しかし広い意味ではガソリン自動車(小型乗用車)に含まれている為、今後新しい資格なども検討されるのではないかと予想する。

宮中委員→学生募集の件で、若者のクルマ離れと言われるが、都心部に拘らず地方へアピールすることで多く募集することができるのではないかと。

佐藤校長返答→地方へもアピールしているが、費用対効果を考えるとバランスが難しい。近年は高校の進路決定時期が早まっており、1年生、2年生へアピールしOC参加を促進することを優先している。

宮中委員→1級科のグローバル授業で英語を実施しているが、2年制課程でも実施を検討していないのか。

松村副校長返答→1級科の英語は技術者同士が会話できるよう考えた特殊なカリキュラムで、今のところ2年課程はカリキュラムが過密であることもあり実施する予定はない。

根本委員→面接時や学校見学会において、最近の高校生はクルマの何が好きだと言っているか知りたい。

以前はエンジン音であったりスポーツカーなどに興味があったと思うが。

松村副校長返答→最近では、映画やテレビ、ゲームなどからクルマに関心を持つことが多くなった。特にデザインに興味を示す傾向が見受けられる。

クルマの仕組みや整備に興味を示す高校生は少ない。

瀧委員→ケーユーの人事面接では、クルマが好きかの質問はしなくなっている。特にクルマ好きでなくても仕事として入社を考えてくれることが大事。

時代が変わってクルマ好きだけをターゲットとしない時代と考えた方が良い。

瀧委員長より閉会の宣言を行った。

※事務局より連絡

次回 2019年度第2回開催は11月7日(木)17:30より開催予定。

6月13日放送のTV朝日「じゅん散歩」の動画を全員で視聴し、解散した。



会議風景